

日本臨床試験学会 教育セミナー Scott R Evans 先生特別講演

(JSCTR-ESN. 25-02)

Evans 教授は、ジョージワシントン大学生物統計学・生物情報学専攻の設立専攻科長であり、大規模臨床試験と臨床試験方法論の研究の第一人者です。NIAID/NIH 主導の抗菌薬耐性研究グループ (ARLG) や、感染症診断に関するマスタープロトコール試験 (MASTERMIND)、ベネフィット・リスク評価に基づく臨床試験やその他の研究のデザイン、データモニタリング、分析、解釈、報告のための患者中心のパラダイムである DOOR (the desirability of outcome ranking) など数多くのプロジェクトに取り組まれています。



本講演では、主に臨床試験に携わる生物統計家を対象に、近年の臨床試験方法論の進歩と革新的なアプローチについてお話いただきます。多くの疾患を対象に革新的なプロジェクトを進める Evans 教授のご経験を元にご講演頂ける貴重な機会です。

具体的には Desirability of Outcome Ranking (DOOR) という臨床試験の設計、モニタリング、解析、報告のための患者中心のパラダイムに関して詳細に解説いただきました。

| | |
|-------|--|
| 日 程 | 2025 年 2 月 27 日 (木) 12:30~14:00 開催 【オンデマンド配信期間】2025 年 3 月 28 日 (金)~4 月 25 日 (金) ※【GCP パスポート/エキスパート認定更新ポイント】10pt 対象 |
| 開催形式 | WEB (オンデマンド配信) ※2 月 27 日の特別講演の録画配信となります。 |
| 対 象 | 医薬品・医療機器メーカー、CRO、アカデミアで実務を担当している生物統計家、プログラマー、データマネジャーの方。臨床試験を実施している、実施しようとしている研究者、CRC、スタディマネジャー (StM)、モニタリング担当者 (MO)、臨床データマネジャー (CDM)、研究事務局、IRB/CRB 関係者、教育研修担当者 |
| 定 員 | 会場参加: 希望者先着 80 名程度 |
| 共 催 | 東京大学生物統計情報学講座、東北大学 |
| 参 加 費 | 3,000 円 (会員・製薬協加盟会社)、5,000 円 (非会員) ※日本臨床試験学会賛助会員は一口につき一名を会員価格とさせていただきます (申告者・先着)。 ※オンデマンド視聴を希望される場合も申込が必要です。 |
| 参加申込 | WEB フォームよりお申込みください。申し込みは こちら から。 オンデマンド配信参加締切: 2025 年 4 月 17 日 (木) 15 時 (入金締切 4 月 18 日 (金) 15 時) ※視聴期間の延長はございません。3/25 以降は申込後、3~5 日後に視聴のご案内をお送りします。 ※ その他詳しくは 日本臨床試験学会ホームページ をご確認ください。 |

プログラム

司会: 口羽文 (帝京大学大学院)、水澤純基 (企画研修委員会)

| | |
|-------------|--|
| 12:30~13:30 | Recent advancements in clinical trial methodologies and innovative approaches 講師: Scott R Evans (George Washington University) ※通訳なし、PowerPoint 自動キャプション機能を用いた英語字幕あり |
| 13:30~14:00 | Q&A session |

【企画】水澤純基、大庭真梨、菅波秀規

【お問い合わせ】一般社団法人日本臨床試験学会 事務局

TEL: 03-5206-4005 (平日 9 時~17 時) / E-mail: staff@j-sctr.org